

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日:2022年7月14日

所属学部／研究科・学科／専攻	経営学部公共経営学科
留学先国	イギリス
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院 現地言語: The School of Oriental and African Studies
留学期間	2021年9月～2022年6月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	4年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2022年7月1日
明治大学卒業予定年	2024年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月下旬～12月中旬 2学期:1月中旬～3月下旬 3学期:4月下旬～6月中旬 4学期:なし (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	5,800人
創立年	1916年

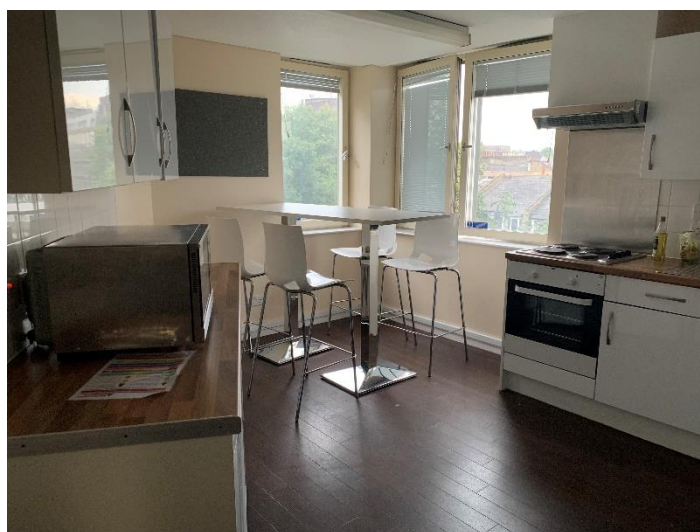
留学費用項目	現地通貨 (£)	円	備考
授業料	2500	375,000円	Pre-sessional course 4 week
宿舍費	6,600	1,087,000円	
食費	1,810	300,000円	
図書費	0	0円	
学用品費	0	0円	
携帯・インターネット費	100	16,500円	1ヶ月15GBプラン(10ポンド×10か月)
現地交通費	150	25,000円	休日の移動費(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	1,213	200,000円	ヨーロッパ旅行等
被服費	100	16,500円	
医療費	0	0円	保険適用
保険費	710	117,000円	形態:大学斡旋の東京海上日動火災保険
渡航旅費	1053	173,700円	
ビザ申請費	333	55,000円	
雑費	200	33,000円	
その他		円	
その他	242	40,000円	PCR関係
合計	15,011	2,438,700円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:日本(成田) 目的地:イギリス(ヒースロー) 経由地:ドバイ 復路 出発地:スペイン(ビルバオ) 目的地:日本(成田) 経由地:マドリード・アブダビ
渡航費用
①往復チケットを購入した場合 航空会社: _____ 料金: _____
②片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社:Emirates Airways 料金:57,000 円 復路 航空会社:Etihad Airways 料金:116,700 円 ∴合計:173,700 円
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名: _____) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:スカイキャナー) <input type="checkbox"/> その他(_____)

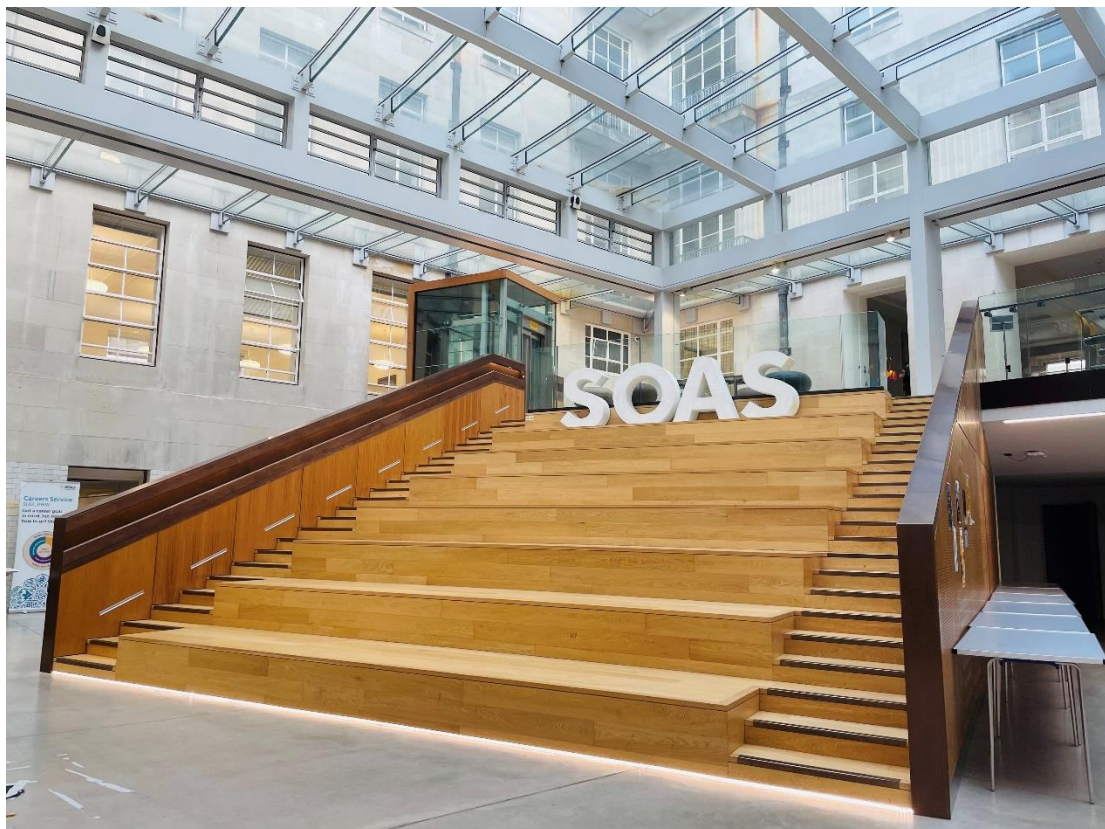
滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: Dinwiddy House) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 _____)
3)共有部分
<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
留学先大学の斡旋
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
多くのSOAS学生が住んでいるので、友達が簡単にでき、立地も最高です。しかし、連日パーティーでの騒音問題やシャワーの温水が出なくなる、エレベーターが故障するなどのトラブルはあります。それも含めて文化です♪



現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院, 学内の診療所)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (治療を受けた場所: 現地の病院)
2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。(例: 留学先大学の相談窓口, 現地の友人等)
<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり (問題の内容や相談した人等: フラットメイト)
3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?
Airpods Pro をカフェで盗まれました。以後、貴重品は肌身離さず身に付けておくこと、人をすぐに信頼しないように意識して過ごしました。
4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)
現地でのSIMカードは、ブランドによって繋がりがやすい時・場所にムラがありました。料金プランも様々なので、要検討です。私が使用していたLebaralはどこでもサクサク繋がりました。
5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)
日本のデビットカード・クレジットカードを使っていました。基本現金は必要ないです。また、友人との送金には Revolt という口座アプリがおすすめです。(送金手数料、換金が土日以外無料のため)
6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
クレラップ(イギリスのラップはイライラたまりますよ〜)、調味料(現地スーパーでも入手できますが、とても高いです)
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() ・履修の制限はありましたか？	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付して下さい。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Chinese 1A/1B	中国語 1A/1B
科目設置学部・研究科	East Asian Languages and Cultures
履修期間	一学年間
単位数	30
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回
担当教授	Dr. Pang
授業内容	中国語初級 文法・リスニング・スピーキング
試験・課題など	筆記試験が学期に 2 回、学年末はスピーキングテストもあり
感想を自由記入	明治大学で中国語を第二言語として選択していたため、理解しやすかったです。完全初心者で始めるとすると、授業のペースは速いと感じるかもしれません。先生はとても熱心でおしゃべり好きな方です。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Cool Japan: manga, anime, sushi	クールジャパン
科目設置学部・研究科	East Asian Languages and Cultures
履修期間	1 学期間(Term2)
単位数	15
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 120 分が 1 回
担当教授	Dr. Griseldis Kirsch
授業内容	文化盗用と日本の「クールジャパン戦略」について
試験・課題など	ミュージアムレポート(コロナの影響で代替レポート可)とエッセイ 1 つ
感想を自由記入	日本は外国からどのように評価されているのかを知る、留学の醍醐味を学問的に学ぶことができます。日本人としての意見を求められることが多くありました。日本の「当たり前」が当たり前ではない世界中の学生たちに意見を伝えることに苦戦しましたが、とても楽しい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to the History of Africa		アフリカ史入門	
科目設置学部・研究科	History		
履修期間	一学期間		
単位数	15		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 60 分が 2 回		
担当教授	Dr. Wayne Dooling		
授業内容	アフリカ大陸の歴史と帝国支配の影響について		
試験・課題など	エッセイ 2 つ		
感想を自由記入	帝国支配を進めていたイギリスやヨーロッパ諸国の視点からアフリカ諸国の歴史を学ぶことが出来る、興味深い授業でした。国際開発学の授業にも共通する視点や、理解の補助となる知識が多かったです。私が履修した中で一番国籍が異なる学生が集まる授業でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Introduction to Gloval Development		国際開発学入門	
科目設置学部・研究科	Development Studies		
履修期間	一学年間		
単位数	30		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とチュートリアル (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回		
担当教授	Dr. Manish Maskara		
授業内容	開発学の基本となる理論を様々な国際問題を例に学ぶ		
試験・課題など	エッセイ 3 つ(每学期 1 つずつ)		
感想を自由記入	開発学部 1 年生の必修授業の一つだったので、初めて海外で開発学を学ぶ私も基礎となる考え方をみっちり学べました。各国政府がやっていることや、NGOがやっていることに対して批判的な視点を持って分析する機会が多く、クリティカルシンキングが身に着きました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Business Ethics and Corporate Social Responsibility		企業倫理と企業の社会的責任	
科目設置学部・研究科	Finance and Management		
履修期間	一学年間		
単位数	30		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義とチュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回		
担当教授	Dr. Gah-Kai Leung		
授業内容	企業倫理やビジネスと社会の関わり方の在り方について基礎的な理論を学ぶ		
試験・課題など	エッセイ 2 つ(Term2, Term3)		
感想を自由記入	明治大学の経営学部で学んでいたことと少し被る部分があったので、少し難しい内容ではありましたが理解することができました。日本とイギリスの間にある、企業や一般市民は「こうあるべき」という像の違いを感じることができ、とても新鮮でした。		
感想を自由記入			

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記 2 以降は記入不要)
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input checked="" type="checkbox"/> その他:国連ユースボランティア→1年卒業延期
2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など
Mキャリア
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
アサヒビール(24年卒に延期してくれるそうです)、豊田通商、日産トレーディング 国連ユースボランティア参加後、もう一度就活するかは決めていません。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学中にオンラインで日本の就活をしていました。LINEのグループチャットに入って日本の就活生の情報をチェックすること、筆記試験対策を早めに始めることが大切だと思います。また、日本にいてアルバイトやゼミをやりながら就活をするよりも、留学先の方が案外時間が取れたりします。周りに流されず、自分のペースで集中できることも利点です。あまりネガティブな要素はないと感じました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備, 試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。
国際開発学を学ぶ中で、常に世界を牽引している国連の実態が気になったため、就活と同時に選考に応募していました。留学先で、周りとのペースを気にせず自分のやりたいことに全力投球な友人たちに多くの刺激を受けました。大学在学中にしかできないことを全部挑戦する気持ちが大切だと思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入して

ください。例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

留学開始年の前年	1月～3月	IELTS学習
	4月～7月	IELTS学習
	8月～9月	IELTS学習、情報収集
	10月～12月	IELTS受験、学内選考
留学開始年	1月～3月	奨学金応募
	4月～7月	留学先大学への出願
	8月～9月	ビザ・寮・航空券手配、現地渡航
	10月～12月	Term1、就活情報収集
留学/帰国年	1月～3月	Term2、就活Webテスト対策、ES、面接、国連ユースボランティア応募
	4月～7月	Term3、就活面接、国連本選考、旅行、帰国
	8月～9月	留学振り返り、国連準備
	10月～12月	

留学体験記

この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、留学を志す後輩学生へのアドバイスなどを自由に記入してください。

私は、国際開発学×アフリカ地域に興味があり、この興味にぴったりはまったのが SOAS でした。大学 1 年生の時にボランティアとしてウガンダに渡航し、その際に多くの問題を目にしましたが、学問的な知識が全くなくもどかしさを感じました。これをきっかけに、国際開発学、アフリカ研究で定評のある SOAS への思いを一層強くしました。

実際に学問的に学んでみると、ある意味期待を裏切られることや、逆により一層興味を掻き立てられることなど様々な感情を経験しました。将来やりたいことが分からないから留学志望動機書が書けない、と悩む人もいるかも知れませんが、実際、私は 1 年前に書いた志望動機書に書いたことと全く違う道に進もうとしています。留学は、そのくらい様々な気付きを与えてくれ、好きなこと、自分に合っていないこと、自分の将来について考えさせられる機会が多くあります。

ですから、将来の夢がはっきり決まっている人はそこに向けたステップアップとして、そしてまだ自分が何をしたいのか分からない人は自分自身に向き合う機会として、留学に是非挑戦してみてください！ 留学先での思いがけない出会いや出来事があなたの人生を大きく変えるかもしれません。どんどん新しいことに飛び込んで、自分、そして日本での日常との違いを楽しむ心を持っていれば必ず大きな実りのある留学になるはずです。

みなさんの挑戦を心から応援しています。

